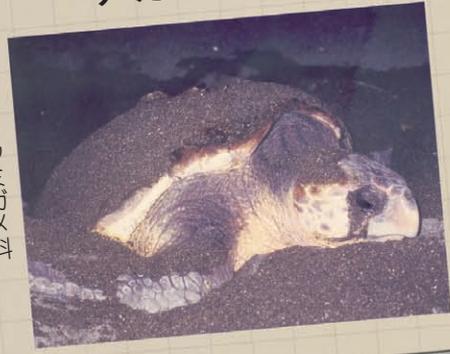


和具大島の希少な動物たち

アカウミガメ



●カメ目 ウミガメ科
●県の絶滅危惧Ⅱ類
5〜8月頃、砂浜へ上陸して産卵します。

オカヤドカリ類



●国の天然記念物
十脚目 オカヤドカリ科に属する陸生のヤドカリ。

ウチャマセンニューウ



●スズメ目 ウグイス科の夏鳥
●県の絶滅危惧ⅠB類
4月下旬頃に大島に渡来し、9月下旬頃に渡去するのではといわれています。

和具大島では、ウチャマセンニューウ、シロチドリ、コアシサシなどの希少な鳥類の繁殖も確認されています。

参照：「三重県レッドデータブック 2005 動物」

和具大島の自然を守る活動①
「ユッカランの駆除作戦」

希少な自然が数多く残された和具大島に環境の変化が起きています。それは、砂浜の植物群落に繁茂したアツバキミガヨランです。アツバキミガヨラン(通称ユッカラン)はリュウゼツラン科の北アメリカ南部原産の外来植物です。ユッカランの侵入によって、ハマモトなどの在来の海浜植物の生育に影響がでています。

▶和具大島でユッカランが植栽された記録はなく、自然に漂着したのではないかと考えられます。



志摩半島野生動物研究会では、平成16年度から環境省グリーンワーカー事業などで、「ユッカランの駆除作戦」を行っています。

高さ1〜3メートルあるユッカランの厚い葉先は鋭くとがっていて、人が近づくのも大変です。平成17年の駆除活動では、ボランティアなど約100人が参加し、4日間の作業で約7トンを駆除しました。

中村さん「小さな根でも残っていれば、再び、出芽するほど、ユッカランは生命力の強い植物です。」
地上部の株だけを駆除するのでは

▶他の海浜植物を傷つけないように、手作業で砂の中を掘っていくと、太い根っこがたくさん埋まっています。



なく、砂の中に広がった根っこごと掘り出す必要があります。放っておけば、大きく成長してしまう恐れがあり、今後もユッカランの根絶を目標に、駆除活動が続けられる予定です。

◀掘り出したユッカランは、船で島外へ運び出したあと、焼却処分します。

